

# 建築専門誌・建築一般誌および SNS からみる表現特性としての建築写真のあり方に関する研究 その 2 表現特性同士の関係性

## A Study on the Expressive Characteristics of Architectural Photography in Specialist and General Publications and Social Media Part 2: Relationships between expressive characteristics

D : 建築計画 8. 建築社会システム 1. 建築社会システム

建築写真

建築雑誌

SNS

イメージ

準会員 ○浦上 穰\*

Joe Uragami

正会員 脇坂 圭一\*\*

Keiichi Wakisaka

### 1. 研究の概要

その 2 では、その 1 で明らかにした結果から、表現特性要素同士の関係性を検討することで、各媒体、各事例において示される建築像の詳細な傾向を明らかにすることを目的とする。

### 2. 研究方法

分析方法を以下に示す。

- ・その 1 で示した結果から、内外、スケール、アングルの 3 つの表現特性に着目し、それぞれクロス集計を行いグラフを作成した (図 1)。
- ・表現特性同士の関係性から、媒体、事例間における差異を明らかにした。

### 3-1. 内外とスケールの関係

本節では、「内外」と「スケール」の関係を媒体ごとに比較し、建築写真における構図選択の傾向を明らかにする (図 3)。まず全体傾向として、「SNS」では 5 事例すべてにおいて「外」構図が圧倒的に多く、特に「L」および「M」スケールが全体の約 6 ~ 7 割を占める。〈太宰府〉では外観写真が全体の約 9 割を占め、そのうち「L」が最も多い。同様に、〈豊田〉でも外観の「XL ~ M」スケールが高い割合を占めた。これらは、SNS において建築が風景的・記号的存在として共有される傾向を反映しており、空間的体験よりも建築の「見映え」や「場の印象」が強調されることを示すと思われる。

一方、専門誌では、「内外」の分布が比較的均衡しており、スケールも「L ~ M」を中心に分散している。たとえば〈下瀬〉では「内 L」が約 25%、「外 L」も同程度であり、内部・外部をバランスよく捉えている。また〈地中〉や〈ホントカ〉では「内 L ~ M」が高い割合を占め、空間の構成的特徴を伝える写真が多い。これらの傾向は、専門誌が設計意図や空間構成を理解させるためのドキュメンテーション性を重視していることを示す。外観の「XL」や「S」スケールも一定数存在するが、それらは全体構成やディテールの説明に補助的に用いられていると考えられる。

一般誌では、SNS と専門誌の中間的な傾向がみられる。全体的に「内」が多いものの、スケールは「L」や「M」に集中しており、極端な「XL」「S」は少ない。〈ホントカ〉や〈豊田〉では「内 L」「内 M」が全体の 6 ~ 7 割を占め、読者が空間に入り込むような視点で撮影されている。これは一般誌が、専門的な説明よりも体験や雰囲気伝える編集意図を持つためであり、建築が人間のスケール感の中で感覚的に提示されているといえる。

SNS では「外×大スケール」が支配的で、建築が視覚的アイコンとして消費される傾向が強い。専門誌では「内外バランス×中スケール」を通じて、建築を空間的構成

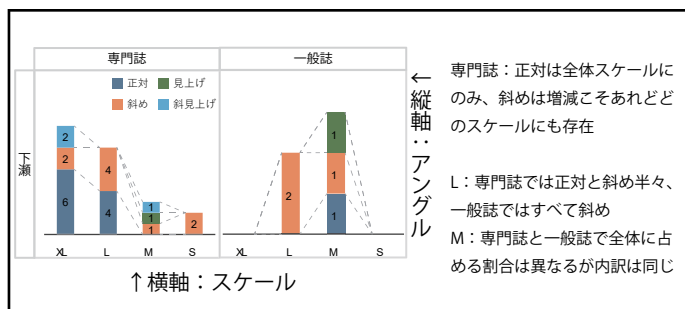


図 1. 表現特性のクロス分析例

### 3. 「内外」と「スケール」、「スケール」と「アングル」

被写体および建築空間のより詳細な捉え方を明らかにするため、「内外」ごとの「スケール」および「スケール」ごとの「アングル」、それぞれの内訳から、それぞれの関係性を検証した。

「内外とスケール」では、被写体となる建築空間において行われる括り取りの傾向、「スケールとアングル」ではそれぞれの関係性から、選択された建築空間の括り取り方における構図選択の傾向について検討した。

\* 静岡理科大学 理工学部建築学科 学部生  
\*\* 静岡理科大学 理工学部建築学科 教授、博士 (工学)

Student, Department of Architecture, Shizuoka Institute of Science and Technology.  
Prof., Department of Architecture, Shizuoka Institute of Science and Technology, Dr. Eng.

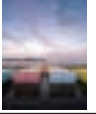
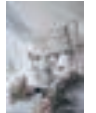
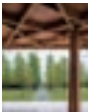
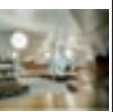
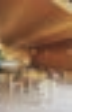
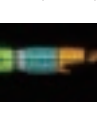
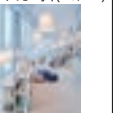
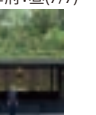
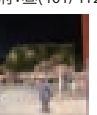
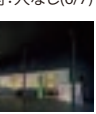
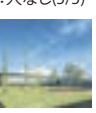
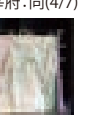
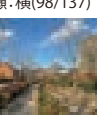
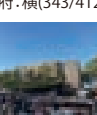
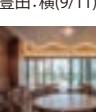
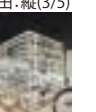
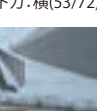
| 専門誌   |                                                                                                       |                                                                                                     | 一般誌                                                                                                 |                                                                                                       |                                                                                                     | SNS                                                                                                 |                                                                                                          |                                                                                                           |                                                                                                        |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内外    | 下瀬:外(12/23)<br>      | 太宰府:外(5/7)<br>     | 地中:内(6/10)<br>     | 下瀬:内(3/5)<br>        | 太宰府:内(4/7)<br>     | 地中:内(3/5)<br>     | 下瀬:外(86/137)<br>      | 太宰府:外(393/412)<br>     | 地中:内(12/23)<br>     |
|       | ホントカ:内(10/17)<br>    | 豊田:外(6/11)<br>     | 内部:34<br>外部:34                                                                                      | ホントカ:内(12/14)<br>    | 豊田:内(3/5)<br>      | 内部:11<br>外部:25                                                                                      | ホントカ:内(58/72)<br>     | 豊田:外(85/140)<br>       | 内部:589<br>外部:195                                                                                       |
| スケール  | 下瀬:XL(10/23)<br>     | 太宰府:L(3/7)<br>     | 地中:L(4/10)<br>     | 下瀬:M(3/5)<br>        | 太宰府:S(3/7)<br>     | 地中:M(3/5)<br>     | 下瀬:M(71/137)<br>      | 太宰府:L(207/412)<br>     | 地中:L(11/23)<br>     |
|       | ホントカ:L(11/17)<br>    | 豊田:XL,M(4/11)<br>  | XL:20<br>L:19<br>M:12<br>S:07                                                                       | ホントカ:L(7/14)<br>     | 豊田:L,M(2/5)<br>    | XL:1<br>L:15<br>M:16<br>S:4                                                                         | ホントカ:M(30/72)<br>     | 豊田:(59/140)<br>        | XL:125<br>L:324<br>M:282<br>S:53                                                                       |
| アングル  | 下瀬:正対(10/23)<br>     | 太宰府:正対(4/7)<br>    | 地中:斜め(5/10)<br>    | 下瀬:斜め(3/5)<br>       | 太宰府:正対,斜(3/7)<br>  | 地中:斜め(3/5)<br>    | 下瀬:斜め(63/137)<br>     | 太宰府:正対(140/412)<br>    | 地中:正対(10/23)<br>    |
|       | ホントカ:斜め(9/17)<br>   | 豊田:斜め(5/11)<br>   | 正対:24<br>斜め:30<br>見上:5<br>斜上:9                                                                      | ホントカ:斜(10/14)<br>   | 豊田:斜め(5/5)<br>    | 正対:8<br>斜め:24<br>見上:2<br>斜上:2                                                                       | ホントカ:斜め(44/72)<br>   | 豊田:斜め(69/140)<br>     | 正対:241<br>斜め:273<br>見上:104<br>斜上:166                                                                   |
| 時間帯   | 下瀬:昼(23/23)<br>    | 太宰府:昼(7/7)<br>   | 地中:昼10/10<br>    | 下瀬:昼(5/5)<br>      | 太宰府:昼(7/7)<br>   | 地中:昼(5/5)<br>   | 下瀬:昼(136/137)<br>   | 太宰府:昼(401/412)<br>   | 地中:昼(20/23)<br>   |
|       | ホントカ:昼(10/10)<br>  | 豊田:昼(10/11)<br>  | 昼:67<br>夜:1                                                                                         | ホントカ:昼(14/14)<br>  | 豊田:昼(5/5)<br>    | 昼:36<br>夜:0                                                                                         | ホントカ:昼(65/72)<br>   | 豊田:昼(132/140)<br>    | 昼:754<br>夜:30                                                                                          |
| 人物の有無 | 下瀬:人なし(18/23)<br>  | 太宰府:人あり(5/7)<br> | 地中:人なし(9/10)<br> | 下瀬:人なし(5/5)<br>    | 太宰府:人なし(6/7)<br> | 地中:人なし(5/5)<br> | 下瀬:人なし(94/137)<br>  | 太宰府:人あり(343/412)<br> | 地中:人なし(19/23)<br> |
|       | ホントカ:人なし(9/17)<br> | 豊田:人なし(7/11)<br> | 人 :23<br>物 :0<br>なし:45                                                                              | ホントカ:人なし(8/14)<br> | 豊田:人なし(5/5)<br>  | 人 :7<br>物 :0<br>なし:29                                                                               | ホントカ:人なし(36/72)<br> | 豊田:人なし(91/140)<br>   | 人 :463<br>物 :16<br>なし:395                                                                              |
| 縦横    | 下瀬:横(20/23)<br>    | 太宰府:横(5/7)<br>   | 地中:横(8/10)<br>   | 下瀬:横(5/5)<br>      | 太宰府:同(4/7)<br>   | 地中:縦(3/5)<br>   | 下瀬:横(98/137)<br>    | 太宰府:横(343/412)<br>   | 地中:縦(11/23)<br>   |
|       | ホントカ:横(15/17)<br>  | 豊田:横(9/11)<br>   | 縦:11<br>横:57<br>同:0                                                                                 | ホントカ:横(11/14)<br>  | 豊田:縦(3/5)<br>    | 縦:10<br>横:22<br>同:4                                                                                 | ホントカ:横(53/72)<br>   | 豊田:横(112/140)<br>    | 縦:149<br>横:615<br>同:20                                                                                 |

図 2. 各要素の代表写真

として理解させる媒体となっている。一般誌はその中間に位置し、空間の内部に寄りつつも過度な専門性を避け、体験的・感覚的理解に焦点を当てている。

このように、「内外×スケール」という二項を通じて観察することで、各媒体が建築をいかに社会的文脈の中で再構築しているか、すなわちメディア固有の建築像を定量的に把握することが可能となる。

### 3-2. スケールとアングルの関係

本節では、「スケール」と「アングル」の関係を媒体ごとに比較し、建築写真における「建築の捉え方」を明らかにする。ここでスケールは被写体の括り取り方、アングルは空間の見せ方を示す。正対(正対・見上げ見下げ)は建築そのものを正面から捉える構図であり、斜め(斜め・斜め見上げ見下げ)は空間の広がりや奥行きを意識する視点として整理した(図5)。

まず SNS 媒体では、全体的に「斜め」が支配的である。たとえば〈太宰府〉では「斜め」「斜め見上げ」が全体の約 50%を占め、特に「L～M」スケールに集中している(約 70%)。同様に〈豊田〉市博物館や〈ホントカ〉でも「斜め」が過半数を占め、構図の多くが「L～M」スケールで展開される。これらは SNS における空間的な広がりや臨場感を強調する撮影傾向を示し、建築を記号的にではなく「その場にいる感覚」として再構成していることが読み取れる。また〈下瀬〉では「M」スケールにおける「斜め」が全体の約 3 割を占め、細部に焦点を当てつつも構成的奥行きを感じさせる意図があると考えられる。

一方、専門誌においては、「正対」と「斜め」がほぼ均衡し、スケールの分布も「L～M」に広がっている。〈ホントカ〉では「斜め L」が最も多く、〈地中〉では「正対 XL」が見られるなど、空間構成の理解と建築の全体把握を両立させる撮影が多い。これらの傾向は、専門誌が単に空間を「見せる」のではなく、建築の秩序性や構成意識を伝えるために構図を選んでいることを示唆する。特に「斜め L～M」は空間の軸線や奥行きを示すうえで有効であり、建築写真が図面の延長としての役割を果たしていることがうかがえる。

一般誌では、SNS と専門誌の中間的傾向がみられる。全体として「斜め」がやや優勢であるが、「L」スケールに集中しており、極端な「XL」や「S」は少ない。〈太宰府〉や〈ホントカ〉では「斜め L」「斜め M」が全体の半数を占め、空間の広がりを保ちながらも、人物や動線の想起を促す中間的距離感が選択されている。一般誌は建築の専門的な情報よりも読者の体験的理解を重視し

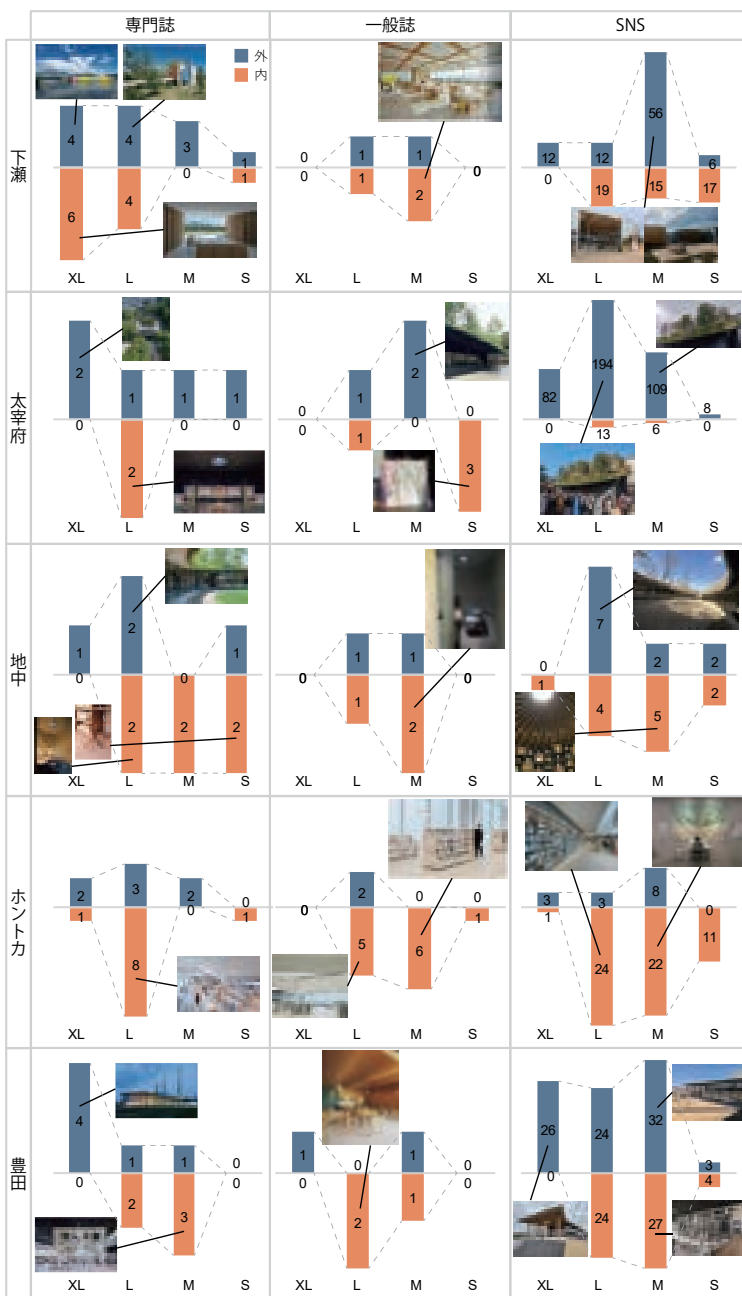


図 3. 内外とスケールの関係性

|  |                             |
|--|-----------------------------|
|  | 専門誌：内外 × 大～小<br>→空間構成としての認識 |
|  | 一般誌：中スケール<br>→体験的、感覚的理解     |
|  | SNS：外偏重 × 大<br>→外形、記号性      |

図 4. 内外とスケールの関係性

ており、斜め構図による没入感や親近感が重視されていると考えられる。

以上の比較から、媒体ごとに「スケール×アングル」の使われ方が明確に分化している。SNS では「斜め×中スケール」が支配的で、体験的で即時的な空間印象を重視する。専門誌は「正対×L～M」を軸とし、建築的構成の明確化と空間理解を目的としている。一般誌は両者の中間に位置し、「斜めL」を中心に空間の奥行きと読者の感覚的関与を両立させている。

このように、「スケール×アングル」の組み合わせは、建築の表現が「空間的体験」「構成的理解」「感覚的共有」といった異なる文脈で再構築される過程を可視化しているといえる。

## 4. 総括

### 4-1. 結論

本研究は、建築専門誌・建築一般誌・SNS という三種の媒体における建築写真を対象に、撮影構図や被写体の傾向を比較・分析することで、媒体ごとの表現意識の差異を明らかにすることを試みた。

専門誌における建築写真は、建築を記録・資料とし、その客観的価値を伝達することを意図している。

一般誌においては、内部空間や中スケールの選定、斜め構図などを用いて、読者に体験を想像させる表現がみられた。

SNS における建築写真は、スケールや構図が多様かつ偏重があり、建築空間を個人的体験として再解釈する傾向が強い。

専門誌・一般誌が担ってきた「建築の価値の提示」は、SNS において「経験の共有」として拡張されつつあるといえる。

### 4-2. 今後の展望

本研究では、専門誌、一般誌、SNS のすべてに建築写真が掲載されていることを条件に対象事例を抽出したため、分析対象の事例数が限定的となった。また、媒体ごとに掲載写真数の差が大きく、構成比による比較には偏りが生じる可能性がある。

今後は対象事例を広げていくとともに、建築の用途や設計意図、編集方針と写真表現との関係を総合的に分析する必要がある。

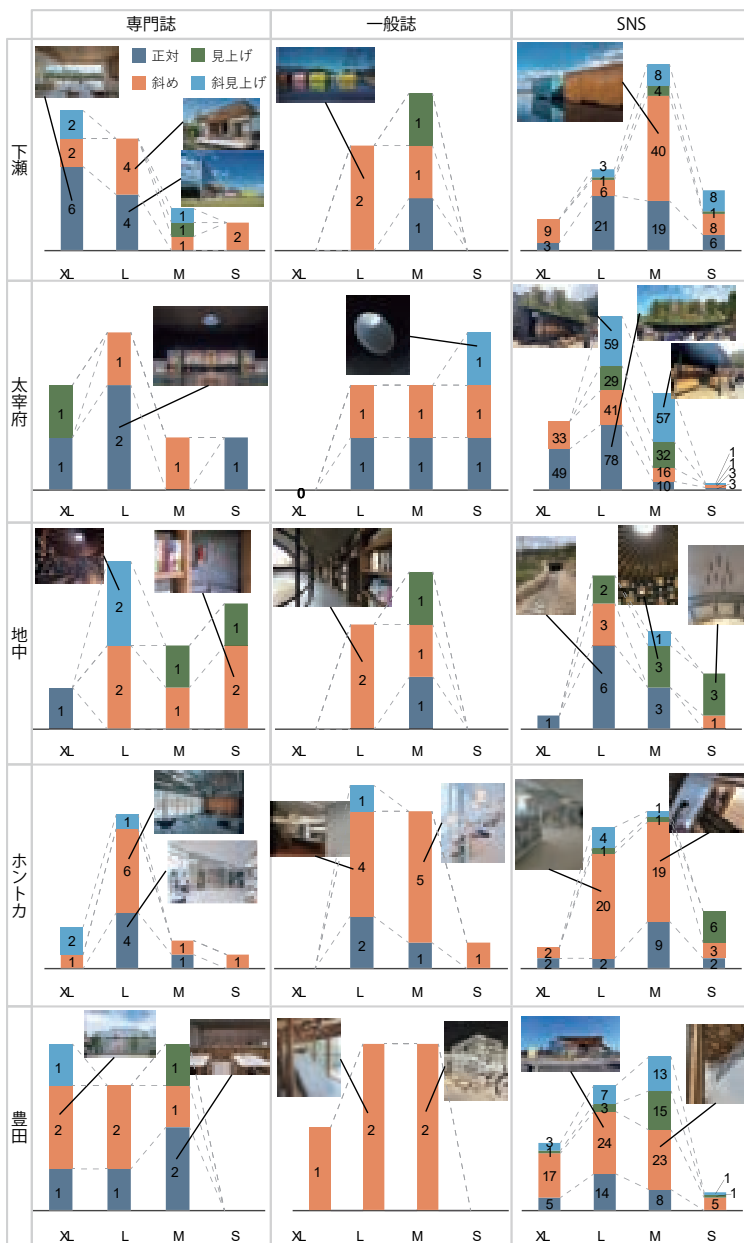


図 5. スケールとアングルの関係性

|  |                                 |
|--|---------------------------------|
|  | 専門誌: 可変 × 正対 / 斜め<br>→ 動線、奥行の表現 |
|  | 一般誌: L × 斜め<br>→ 広がり、活動の想起      |
|  | SNS: M、S × 斜め<br>→ 記号性、即時的空間印象  |

図 6. スケールとアングルの関係性